



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2016.10.12 (No.2886) 週報 No.13

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
会長／川瀬康裕
会長エレクト／小出子恵出 (クラブ奉仕A)
副会長／松永一義 (クラブ奉仕B)
幹事／関川博
S A A／明田川賢一
会計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:55名中45名
- 先々週出席率:92.45%

【ゲスト】

- ・ 国際ロータリー第2560地区ガバナー
田中政春 様 (長岡西RC)
- ・ 地区幹事 小林敏夫 様 (長岡西RC)
- ・ 第4分区ガバナー補佐
森山一理 様 (加茂RC)

【ビジター】

- ・ 三條RAC幹事 武藤雅俊さん

【先週のメークアップ】

【10.5】川瀬会長のご活躍を願う会へ

- ・ 明田川賢一さん、五十嵐昭一さん、
- ・ 五十嵐晋三さん、五十嵐博宣さん、
- ・ 石橋育於さん、伊藤寛一さん、
- ・ 江部卓城さん、小越憲泰さん、
- ・ 歸山 肇さん、加賀美 匡さん、
- ・ 金子俊郎さん、川瀬康裕さん、
- ・ 熊倉昌平さん、小出子恵出さん、
- ・ 小林敬典さん、近藤雄介さん、
- ・ 斎藤弘文さん、斎藤真澄さん、
- ・ 佐野勝榮さん、渋谷健一さん、
- ・ 杉山幸英さん、関川 博さん、
- ・ 高橋 司さん、中村和彦さん、
- ・ 中村信一さん、成田秀雄さん、
- ・ 西山徳芳さん、野崎喜一郎さん、
- ・ 船越良則さん、松永一義さん、
- ・ 丸山行彦さん、宮本信秋さん、
- ・ 柳取崇之さん、山田富義さん、
- ・ 若槻八十彦さん、渡辺勝利さん、
- ・ 渡辺良一さん (37名)

【10.6】燕RCへ

- ・ 中村和彦さん、加藤紋次郎さん

【10.8】あそぼって寄贈式・読み聞かせへ

- ・ 五十嵐博宣さん、伊藤寛一さん、
- ・ 荻根澤隆雄さん、熊倉昌平さん、
- ・ 小出子恵出さん、斎藤真澄さん、
- ・ 杉山幸英さん、関川 博さん、
- ・ 船越良則さん、松永一義さん、
- ・ 丸山行彦さん、柳取崇之さん、
- ・ 山田富義さん (13名)



田中政春ガバナー 公式訪問

会長挨拶

川瀬康裕 会長



本日は田中ガバナー、小林地区幹事、森山ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。後ほどご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

本日はクラブの奉仕活動についてお話し致します。ロータリーの奉仕は物を寄付するだけではありません。みんなで、

知恵を出して、汗をかいて奉仕をします。

誠実な仕事をし、多様の人々との親睦をはかり、友情を深めリーダーシップをもって奉仕をすることがロータリーの大事な価値観です。与えるものの価値の大小よりも、それが相手の役に立つかどうかの問題なのです。

過去の奉仕活動ではコンサート開催、講演会開催、寄付金、支援金、植樹、薬剤散布車、除雪機、パトロールカー寄贈、いからしの里の国旗掲揚塔、大崎山の「ふれあいの鐘」、歴史民俗資料館へ「パネル・館内放送施設」、良寛の道案内板、市内公園にベンチ、総合福祉センターへ壇張り一式、カーブミラー、須頃郷第2公園東屋(坐忘亭)設置などがあります。

今年は60周年記念行事の一環として、一ノ木戸小学校のあとにできた子育て支援施設「あそぼって」に本を寄贈するこ

とにしました。10月8日「あそぼって」で60周年記念行事実行委員の皆様とボランティアの会員が絵本と遊具の寄贈にとどまらず読み聞かせ活動をしてきました。お母さんや子供達に五十嵐会員、船越会員の若手の二人が大きな絵本を使って紙芝居のように読み聞かせをやりました。終わったあと会員の爽やかな笑顔と「いい事したね」という感想がすべてを物語っています。0歳から3歳までの「おひさま」、4歳から小学校3年生までの「あおぞら」を合わせて「おひさまあおぞら」文庫としてロータリー寄贈のパネルも設置されました。お孫さんと一度見に行ってください。「あそぼって」には平日でも百人から二百人、休日には三百人を超える利用があるそうです。私はこの企画の準備に関わりましたが、当日は職業奉仕で参加できませんでした。写真と報告をうけて共に参加出来たような気持ちになりました。素晴らしい奉仕活動だったと思います。新聞記事になりましたので、月信のクラウドBOXにも投稿したいと思います。

60周年第2弾として島田・若草公園、条南・青葉公園、一ノ木戸・ポプラ公園での植樹が企画されています。

三条の未来を作る小さな子供たちへの奉仕と、未来の三条に住む人たちのために植樹イベントに参加しましょう。

ロータリー日本財団より、川瀬康裕会長へメジャードナー表彰「記念クリスタル盾と襟ピン」の授与



幹事報告

関川 博 幹事

◎三条市共同募金委員会より

「赤い羽根共同募金街頭募金ご協力の御礼」

実施日 10月1日(土)

募金額 80,791円 (7カ所合計)

◎次週 18日(火)は、「市内4RC合同例会」です。

19日(水)の例会は、合同例会の振替となります。

お間違えのないよう、お願い致します。

ニコニコBOX

田中政春ガバナー、小林敏夫地区幹事より

ニコニコBOXへご寄付いただきました。

森山一理ガバナー補佐

本日はガバナー公式訪問よろしく申し上げます。

川瀬康裕会長

田中政春ガバナー、ガバナー公式訪問歓迎いたします。よろしくご指導お願い申し上げます。

丸山行彦さん

田中ガバナーを歓迎して。

60周年が成功しますように。

関川 博さん

田中ガバナー、公式訪問歓迎いたします。

森山ガバナー補佐、小林地区幹事よろしく申し上げます。

山田富義さん

10月8日、60周年記念事業の一環として、子育て支援拠点施設「あそぼって」に絵本、本棚、遊具等、読み聞かせの会の寄贈が行われました。会員の皆様、御協力ありがとうございました。

田中ガバナー、本日はありがとうございました。

江部卓城さん

田中ガバナー歓迎いたします。いろいろお話をお聞かせいただければ勉強になります。

佐野勝榮さん

田中ガバナーようこそ！連日の訪問ご苦勞様です。今日は宜しく申し上げます。

衛藤泰男さん

本日はよろしく申し上げます。

小林吾郎さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

渋谷健一さん、熊倉昌平さん、五十嵐晋三さん、

高橋 司さん、中條克俊さん、渡辺良一さん、

五十嵐昭一さん、斎藤弘文さん、渡辺勝利さん、

小越憲泰さん、木村文夫さん、荻根澤隆雄さん、

石橋育於さん、樺山 仁さん、杉山幸英さん、

若槻八十彦さん、歸山 肇さん、金子俊郎さん、

西山徳芳さん、米山智哉さん、阿部吉弘さん、

明田川賢一さん、成田秀雄さん、五十嵐博宣さん、

松永一義さん、中村信一さん、斎藤真澄さん、

柳取崇之さん、吉井直樹さん、宮本信秋さん

田中政春ガバナーを心より歓迎申し上げます。

本日はご指導よろしくお願い致します。

10月12日分 ￥ 55,000

今年度累計 ￥ 622,000

「ガバナー講話」

国際ロータリー第2560地区

ガバナー 田中政春 様



創立60周年を迎える三条クラブさんの大変歴史のある場所で、このようにお話を頂ける機会を貰えて大変感激しております。また、川瀬会長さんにおいては、同じ認知症を治療している

同志という仲間ですので、よろしく願い申し上げます。

ポール・ハリスは78歳で亡くなっていますが、私は78歳でガバナーノミネーになった向う見ずな高齢者です。2560地区の歴代ガバナーの中で恐らく一番の高齢だろうと思っています。私の場合、ノミネーが決まらず、ガバナー指名委員の方も困っていたようです。ガバナーを受けるまでは、挨拶だけでいい、来年のことで先の話だから、などと言われました。わたくしは病後で心身ともに自信がない、途中で倒れるかもしれないからお断りし続けたのですが、死んでもいいからやるように言われ、引き受けてしまいました。知らないうちに判断が甘くなっていったようです。医者は自分の専門とする病気で亡くなるといわれていますが私の専門は認知症です。

ガバナーは卓話でどんなことを話すのか先輩に聞きました。一を聞いて十を知る皆さんに、ガバナー補佐がすでにお願している数値目標をお話するのは失礼かと思い、悩んでいました。ロータリーの話をして聞いていないよと教わりました、何でもありと聞きましたので、わたくしは、自分のこととロータリーの話半々ぐらいでいかがでしょうか？

私は北海道出身です。北海道東部に北見市があり、その近隣の田舎町出身です。中学2年生くらいまでは、教員不足のため自習の時間がほとんどで、中学での英語の授業はありませんでした。そんな田舎でしたが、農家の次男坊で高校くらい卒業しないと身が立ちませんので、農作業の手伝いをしながら北見の高校に通っていました。町の駅まで片道約30分、汽車が30分、北見駅から高校までやく約40分と通学に片道約100分かけていました。冬場は昼が短く通学が困難で親戚の家の下宿させてもらいました。高校卒業したけれどもいい職場もなく、2ヶ月遅れて札幌の予備校へ入りましたが、遅れて入ったため下宿が遠く電車での通学が嫌で2~3回で辞め、問題集を勉強して新潟に来ました。新潟を選択した理由は、高校の友達5人が全員受かりそうな内地の大学を調べた結果、新潟大学ならば全員合格するだ

ろうということで新潟に来ました。教育学部が一番楽勝とみていましたがそこを受けた2人が落ちてしまいました。農学部の一は県庁に、理学部の一はIBMのコンピューター指導者になり、それぞれ若くして、それなりの地位につき、いまは世の中を卒業しています。現役は私だけになりました。インターンの時、この世で一番惨めなのは精神病患者だと感じ、精神科を選び、大学院卒業後は国立療養所に1年間勤めました。結核病床を精神病床に転換する政策が始まり、そのために国立療養所に配属されたのです。その後大学に戻り、研究しようと思いましたが、丁度大学紛争にぶつかり、脳研究所の教官会議の議長をさせられ、大学再建のための評議員会設立まで約2年間棒に振りました。今なら議事録係を要求したり、PCもあり文章づくりも楽ですが、当時は会議が終了してから徹夜で、議事録を作成・配布したり、研究どころではありませんでした。子供ができヒモ生活も限界になり、再度同じ国立療養所へ赴任し、今度は副所長の立場で組合と交渉係をやりました。新潟は全国医療労働者協会が強く何をするにも組合交渉がありました。新潟だけでなく全国の役員が加勢に来て、徹夜で交渉することがありました。

11年間そのようなことをしていましたが、当時有吉佐和子の「恍惚の人」がでて、認知症の悲惨さが話題になっていましたが、介護心中、夫婦での入水自殺が流行りました。最近、理由は分かりませんが、介護者が生き残る介護殺人が多いようです。入院できても、認知症とその家族は精神病患者の中でも一番惨めでした。厚労省と当時は厚生省でしたが、交渉し、1972年日本で最初の46床の認知症の病棟を作っていただきました。

政治家と職員の紹介患者ばかりとなり、一般の人が入院できず、入院してもよくなることは少なく、長期入院となり、新入院患者を受けることができませんでした。

10年間も務めていますと、公務員の先が何となく分かりますので、認知症の病院を作ろうと考え、妻の地元で土地を斡旋していただき、1979年、昭和54年に開業しました。認知症は非採算部門の最たるもので、誰も手掛けていませんので、全て手探りでした。

認知症の根本的治療は不可能ですので、問題行動、興奮、徘徊、付きまとい、せん妄、今というBPSD、行動心理症状をどうコントロールするか工夫しました。

いろいろ試みましたが最終的には言葉に注目しました。誰しも年を取るとひがみ根性が出ますが、認知症の人も蔑まれたり、馬鹿にされると怒り、叱ら

れると興奮すること、凄まじると反抗したり、せかされるとオタオタ戸惑うこと、そっけなくされると被害者意識を持つことなどに気づきましたので、「蔑まない、叱らない、凄まじない、急かせない、素っ気なくあしらわない」この「サシスセソ」を介護・看護の原則として処遇しました。また、世渡りにも利・活用するように職員には勧めています。薬物も常用量の五分の一から十分の一と少量にすると効果があることに気づき評判を上げることができました。認知症の末期は何年間も寝たきりになることを体験していましたので、社会福祉法人を設立し、特養、老健、ケアハウス、有料老人ホーム、認知症グループホームをつくり、認知症の方を保護してきました。また、約20年前フランスの国立脳研究所と連携し、ジムセルボ所謂「頭の体操を開発しましたが、注目されず失敗した経験もあります。20年くらい早かったようです。

ロータリーとの関わりですが、1983年長岡西RCのチャーターメンバーに誘われて入会しました時からです。1989-90年度第7代のクラブ会長を務めただけで地区への貢献は皆無です。ただ大島ガバナーの時にサブリーダーをしたことがあり、その時記念にいただいたのがこのバインダーです。1年間使わせて頂くつもりです。

私、地区ガバナーの役割は、RIやRI会長の考えを色々な方法で皆様にお伝えし、会員増強と奉仕活動を推奨することが重要と心得ております。会員の皆様に直接お伝えするのがこの公式訪問です。他には「ロータリーの友」やRIのホームページ等で、もう一つは月信で、今期からはwebでの配信となり、パソコン、スマホからも検索できますので、どうか暇を作って月信以外のロータリー関連事項も見てくださいと思います。メディアのツールに慣れて頂くため例会などで若い人からスマホの使い方をコーチしてもらおうと良いのではと思います。

ロータリーの本質を理解するにはロータリーが誕生した時代背景を知ることが大切だと思います。ロータリー誕生当時、日露講和会談が行われていた頃ですが、アメリカは、1861年に始まり、4年間に60数万人の犠牲を出した南北戦争から約40年が過ぎていましたが、自由を国是とした社会が形成されるに従い、なにをするのも個人の自由で、約束を破るのも自由ですが、自由を得た代わりにすべてが自己責任となり、ストレスの多い社会になっていました。銃を携帯するのが自由の象徴と今でも考えていますので命に直結した不安と恐怖に曝されていました。ギロチンで自由を獲得した自由の先輩国のフラ

ンス人は「自由の刑に処された」と感じる社会だと述べています。

世に先生といわれる人がいましたが、その先生達が藪医者、詐欺師的弁護士、ペテン師まがいの事業主が横行し、信頼できる人が少なく、安心して交際し、取引できる社会環境でなかったと推測できます。ポール・ハリスは孤独だったのだと思います。クライアントの社長さんたちも「自由の刑に処され」孤独に苦しんでいるのを感じとっていたのだと思います。

現在も市場主義、特に、新自由主義的考えの超国家的企業による規制なしの競争社会が正しいと主張する勢力が強く、お金万能の風潮があり、1905年ころのアメリカに一面では似ていますので、孤独感や不安を感じているロータリアンの予備群は少なくないと推測されます。Brexit で景気が冷えそうですので、予備軍は増えてくると思います。

こうした世相を背景にRI会長となったジョンF. ジャーム会長は「人類に奉仕するロータリー」を2016-17年度のRI会長テーマとしました。そして、「Rotaryの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体は、ほかにありません。ロータリーには世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

クラブ、地区、RIのレベルにおけるリーダーシップの継続はロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによるよき活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです」と述べています。

気配りのできる人、やる気のある人、心が輝いているひとを入会させるようにと述べています。

このように理想的な人材を選抜して入会させるように言いながらも、会員増強を要請していることは会長賞の条件をみても明瞭です。まず、ロータリーに入会して頂いて、奉仕活動をしているうちにロータリアンの資質が身に付くという考え、そのような考えに基づいての会員増強に私は賛成です。「朱に

交われれば赤くなる」、「類は類を呼ぶ」という日本の諺を信じたいと思います。

ロータリーとは何ですかと問われたとき、皆さんはどう説明されますか？

私は「誰とでも仲良くし、約束を守り、多様な考えを許容できるように努力している人がリーダーシップを発揮し、地域や国際的な問題の解決に取り組んでいる、国際的連合体です」と答えることをお勧めしています。ロータリーの中核的価値観をロータリアンの資質と行動に分け、分かり易くしたものです。そして、ロータリーの奉仕活動を実践しているうちに、ロータリーの中核的価値観に含まれるロータリアンとしての資質が獲得されるという思想が背景にあるように思います。地域における社会奉仕活動を経験することにより、ロータリアンの資質が身につくのだと考えます。

ロータリー会員の趨勢を概観しますと、北米、英国、で減少し、南米、韓国、インド、フィリッピン、アフリカで増加しています。日本とドイツは横ばいし微増です。

なぜ会員が減少したか？私は経済の縮小、景気後退だけが原因ではないと推測しています。

デフレ、リーマンショックにも拘わらず、会員をこの20~30年間維持、増員しているクラブがあり、そのようなクラブでは地域での奉仕活動が質量ともに充実していると拝察します。例えば、2560地区では人口比を考慮すれば三条北クラブです。奉仕活動が盛んな地域では入会したい人が少なくない証左だと思います。

長岡市内4ロータリークラブでのアンケート調査ではロータリーに勧誘されて即決で入会した人が約2割でした。6ヶ月以内に入会を決断した人は75%。90%の人が勧誘回数5回までに入会しています。半年間に5回くらい誘うのが効率的です。それ以上はのみ逃げされる確率が高いようです。入会の動機は色々ですが、他業種の人と交流したい、仕事の関係で知人を増やしたいと答えた人が大半でした。

地区目標は「基本を学び、地域と共に」です。どうぞクラブ固有のHUMANITYに奉仕する活動を実施していただきたいと思います。会員増強は例年より低い3%を目標にしています。山本直前ガバナーが今年度から3年任期の地区会員増強委員長さんに就任していますので何卒よろしくお願いいたします。

今年は、ロータリー財団100周年であります。それを祝う内容が含まれたRI会長賞に皆さんがチャレンジしていただくことをお願い申し上げ、公式訪問の卓話とさせていただきます。









次週例会 10月26日 「ライラ研修報告」
青少年奉仕委員長 吉井直樹 会員

次々週例会 11月2日 クラブフォーラム
「地区運営検討会の提案について」
川瀬 康裕 会長

